

(様式2(1))

目標達成計画

事業所名 いやしの館ゆむら 2号館

作成日：令和元年 10月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	浴槽が深くまたぎにくい。また、浴槽の縁が石で出来ており、冷たく危険である。	安全・安心に入浴を楽しむ事が出来る。	浴槽の底にすのこを敷く。縁には滑り止めシートで保護する。浴室での移動、浴槽の出入りには必ず付き添い、転倒等のないように注意する。	6ヶ月
2	49	動く機会が少なく下肢筋力の低下あり、外出の希望がない。	外出の機会を増やす。	個々に合った運動プログラムの作成や、こまめな声掛けで動いてもらう。また各種行事の参加や買い物、散歩等で外出を勧める。	12ヶ月
3	35	災害対策について法人全体で見直し中であり、火災訓練しか出来ていない。	災害対策マニュアルを作る。	早期に法人のマニュアル作成をし、それに基づいて訓練を行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。